

熱電発電に関わる試作、承ります！

排熱発電システム

充電、IoT（通信）、ライト点灯などの用途に

パイプと外気の温度差を利用して発電

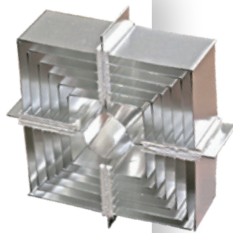
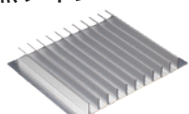
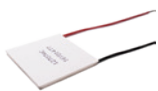
温度差を利用した発電システム。発電量は微小ながらも熱源が確保できれば半永久的に使用可能です。

京都試作ネットでは既存の部材・技術を使用すること、性能と効率を追い求めないことで、システム全体のコストを抑えることを提案しています。

発電システム（熱電素子+伝熱フィン）

熱電素子

伝熱フィン



目安使用温度：150℃まで
※保証使用温度範囲は
-40～100℃

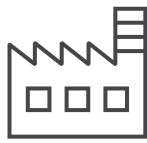
材料例：アルミ、銅、SUS

ボタン電池の代替として

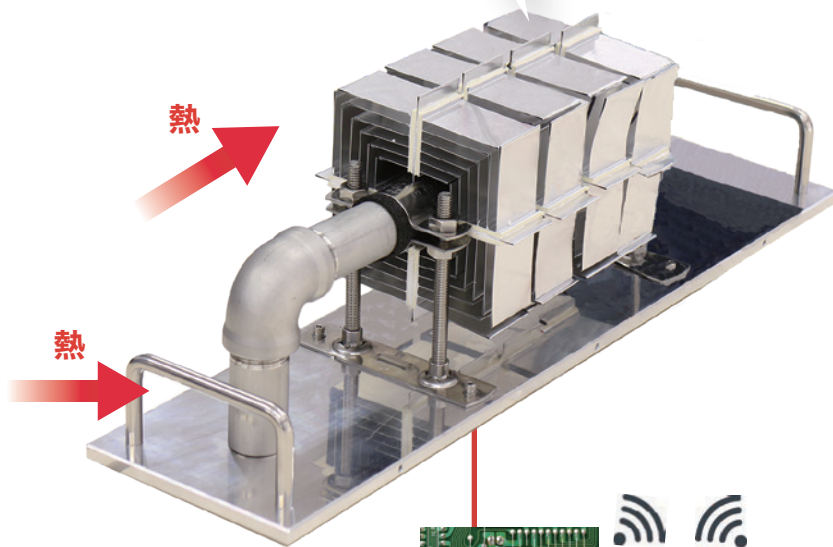
発電電圧 発電電流 発電電力

5V 1.25mA 6.25mW

※パイプの温度が100℃のとき



工場設備



省電力センサーユニット

ゲートウェイユニット

温度表示

電力表示

送信先（例）

モニター、クラウド

送信データ（例）

温度、電圧、電流、電力



クラウドへ画面表示
API など

そのほか

機器廃熱

地熱

水

体温

を利用したシステムも試作します！

